

ゼオンノース

会社紹介

【事業内容】

各種設備の請負・設計・施工・管理、工業用資材・機材の販売、石油製品の仕入・販売、環境計量証明・作業環境測定・各種分析

1972 年設立。ゼオングループの事業活動に伴うプラントエンジニアリングをはじめ、グループ以外のお客様向けにも自社技術を活かした各種工事を積極的に行っています。

2008 年に川崎営業所、2011 年に水島営業所、2013 年に徳山営業所を開設し、日本ゼオン各事業所の保全工事の充実を図って来ました。また 2014 年に主力の米島事業所内に第 4 工場を建設、以降 2014 年第 5 工場、2018 年第 6 工場と新工場を順次増設、お客様のニーズに対応すべく、エンジニアリング事業の充実に努めてまいりました。

【人員数】

2021 年 3 月末人員数：255 名（男性 208 名、女性 47 名）

2020 年度採用実績：12 名（男性 11 名、女性 1 名）



ゼオンノース第 6 工場
(2018 年 4 月竣工)

サービスの例



機器据付工事



ビルメンテナンス

会社方針（トップメッセージ）

2021 年度は下記の社長方針と重点課題を定め取組みを進めております。ゼオングループの 2030 年のビジョンである「社会の期待と社員の意欲に応える会社」実現に向け、その初年度として着実に前進できるよう、社員一丸となり歩みを進めてまいります。

【社長方針】

安全第一！新たな発想で業務を改革し、社会から更に信頼される会社、従業員が健康で働き甲斐にあふれる会社を目指そう。

【重点課題】

1. ゼロ災達成のため、安全管理体制の更なる深化・充実に目指そう。
2. 業務品質を含めた品質向上に取組み、自社技術の伝承や業務改革につなげよう。
3. CSR を遵守し、リスクマネジメントを徹底しよう。
4. 長期的な視野で教育体系を充実させ、人材育成計画を確実に実行しよう。



代表取締役社長 梅崎 聡

安全への取り組み

【方針】

エンジニアリング事業を営む会社として、特に工事現場における安全管理体制の構築・改善に配慮し、安全管理体制を向上させる。

【具体的な取り組み】

- ・作業前 K Y と現場パトロールの強化による事故・労災の未然防止
- ・協力会社を含めた安全第一主義と実行
- ・ヒヤリハット提案の活性化

ゼオンノース安全大会の開催

協力会社との連携を深め、安全意識の高揚と安全知識の普及・情報共有を図ることを目的として、協力会社の代表が一堂に集います。現場で働く全員が高い安全意識を持って、常に安全が最優先される風土の構築を目指し、協力会社の皆さんと協力して取り組んでいきます。



ゼオンノース安全大会

環境負荷削減の取り組み

【方針】

環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷低減のために省エネルギー・省資源化を推進します。

【具体的な取り組み】

- ・事業所の埋立産業廃棄物排出量ゼロ
- ・環境負荷低減商品の販売拡大（高強度防水塗料ポリウレアコーティング）
- ・作業環境測定業務、土壌分析業務の充実



屋根用ポリウレアコーティング剤
「エココート」

環境関連データ（「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す）

ゼオンノース（株）		2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	0	0	0	0	0
	使用量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	排出量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	19	17	24	13	14
	埋立処分量（トン）	0.5	0.2	0.1	0.0	0.0
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）		1.6	2.3	2.3	1.4	1.5
CO ₂ 排出量（トン）		273	320	363	308	359
エネルギー使用量（原油換算、kL）		119	133	155	124	164
消費電力量（千 kWh）		426	458	507	462	480

社員とともに

【方針】

教育体制の整備改善による企業体質の改善

【具体的な取り組み】

若手保全マンの教育施設「ZN 教育センター」を開設し、技術力アップとプロとしての意識改革を図っています。

- ・ベテラン保全マンを講師とする座学と実習教育を組み合わせたカリキュラム



ZN 教育センター（機械応用教育）

地域との共生

【方針】

地域経済社会の活性化に貢献

【具体的な取り組み】

清掃ボランティア活動

社員とご家族に参加を募り、地元の海岸クリーン作戦に協力しています。



氷見海岸清掃